

ICT活用の推進について

第4回 新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会

令和2年10月29日
NPO法人チルドリン徳島 泉 理加

◆ICTの導入で検討すべき事項

- ①費用 ②効果 ③合意

◆モデル校へのICT導入

- ・オンラインショップ
- ・テレワーク就業体験

技術的な問題は少ない
協力企業・団体が必要

→ **導入は比較的容易**

-
- ・学校・保護者間ネットワーク
 - ・学校間ネットワーク

新たな技術（ツール）導入が必要
合意形成が難しいか
継続性を高めるための工夫

- ・ 押印の省略
- ・ 学校と保護者間連絡のデジタル化

文部科学省
「学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における
連絡手段のデジタル化の推進について(通知)」
参照

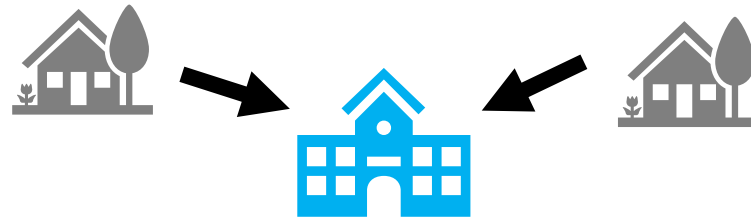


学校側は印刷・配布業務も軽減され、
保護者側もスマホ等でいつでも・どこでも閲覧でき、
双方の利便性も向上すると考えます。

文部科学省
「学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における
連絡手段のデジタル化の推進について(通知)」
参照

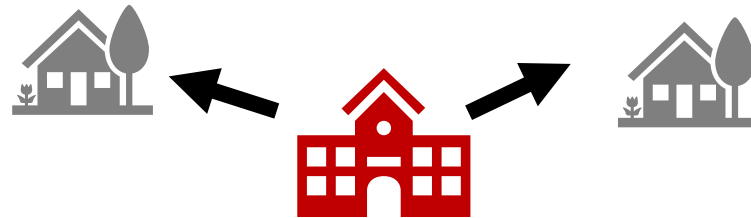
◆提案) 学校・保護者間ネットワーク

<平時>



- ・音声入力
- ・クラウドの利用
- ・多様化する保護者に対応しつつ、負担減

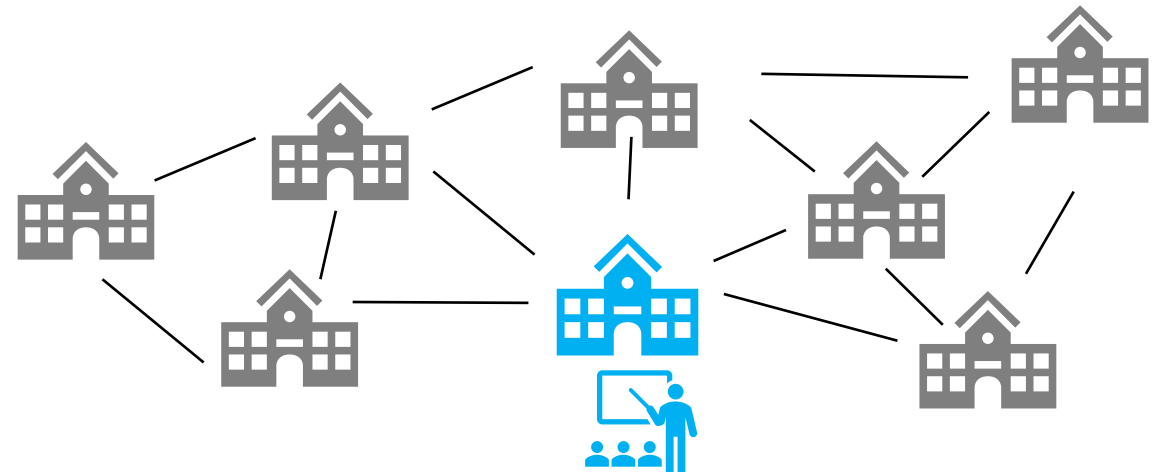
<緊急時>



- ・一斉に通知（配信）
- ・情報の蓄積
- ・複数ルートを確保

ツールの活用

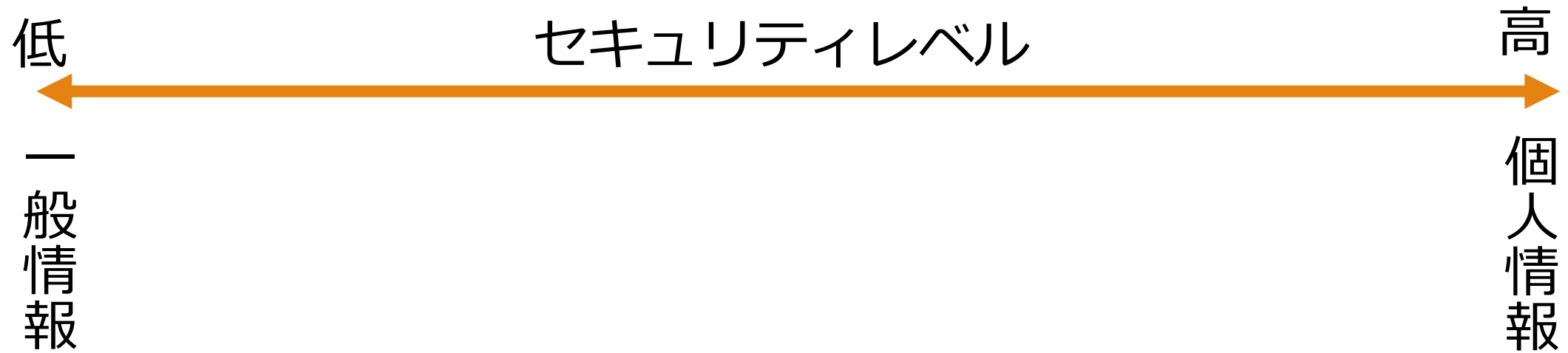
◆提案) 学校間ネットワーク



- 1) 何を共有するか、しないのか
- 2) 柔軟に運用できるように設計する
 - × 一極集中としない
 - × 担当者しかわからないシステム
- 3) 作業を増やさない。モデル校、各校
- 4) 情報の取得に時間や場所制限をしない

情報共有と即時性

◆補足) セキュリティ



利益・利便性とリスクのバランス → 貴重な情報は厳重に。
正しく知り、正しく恐れる

専門家との連携